

丸五グループの歩みとこれから ～商工中金寄附講義～

丸五ゴム工業株式会社
代表取締役社長執行役員
藤木達夫

話の内容

- 自己紹介
- 丸五グループの紹介
- 自動車・自動車部品業界
 今後の動向と当社の対応
- 中小企業経営について私の考え
- 私からのメッセージ
- 倉敷の紹介

自己紹介

- 氏名：藤木達夫
- 生年月日：1957年6月11日（64歳）
- 出身地：岡山県倉敷市
- 学歴：1980年 一橋大学法学部卒業
島津ゼミ（民法）
バスケットボール部
- 趣味：読書・走ること・音楽鑑賞
・サッカー観戦

自己紹介

- 職業：丸五ゴム工業(株)代表取締役社長
丸五ホールディングス(株)代表取締役
(株)丸五代表取締役 など
- 他の役職：岡山中金会代表幹事
倉敷商工会議所副会頭
(公財)倉敷市スポーツ振興協会会長
倉敷交通安全協会会長
岡山県中小企業団体中央会副会長
岡山県自動車関連企業ネットワーク会議副会長
岡山ゴム工業会会長 など

会社の沿革



1919年 5月	丸五足袋(株)創業
1954年 1月	丸五足袋(株)より独立し「丸五ゴム工業(株)」設立
1960年 11月	現在地(倉敷市上富井)に本社工場建設
1962年 4月	矢掛工場建設
1988年 10月	アメリカテネシー州に PML, Inc. 設立
1998年 3月	品質マネジメントシステム「 ISO9001 」認証取得
2002年 6月	環境マネジメントシステム「 ISO14001 」認証取得
2004年 10月	中国に 丸五富井(福州)工業有限公司 設立
2007年 1月	丸五富井(福州)工業有限公司 操業開始
2010年 12月	タイに Asian Rubber Parts Co. Ltd. 設立
2011年 10月	インドネシアに PT Marugo Rubber Indonesia 設立
2012年 8月	インドに Talbros Marugo Rubber 設立
2014年 4月	自動車産業品質マネジメントシステム「 ISO/TS16949 」認証取得
2015年 1月	丸五ホールディングス(株)設立
2016年 8月	タイの Asian Rubber Parts Co. Ltd. を Marugo Rubber (Thailand) Co., Ltd. に社名変更
2019年 5月	グループ創立100周年

『丸五』・・・どういう意味？



地下足袋



2019年NHK大河ドラマ「いだてん」



NHK「いだてん」使用の靴



丸五の履物



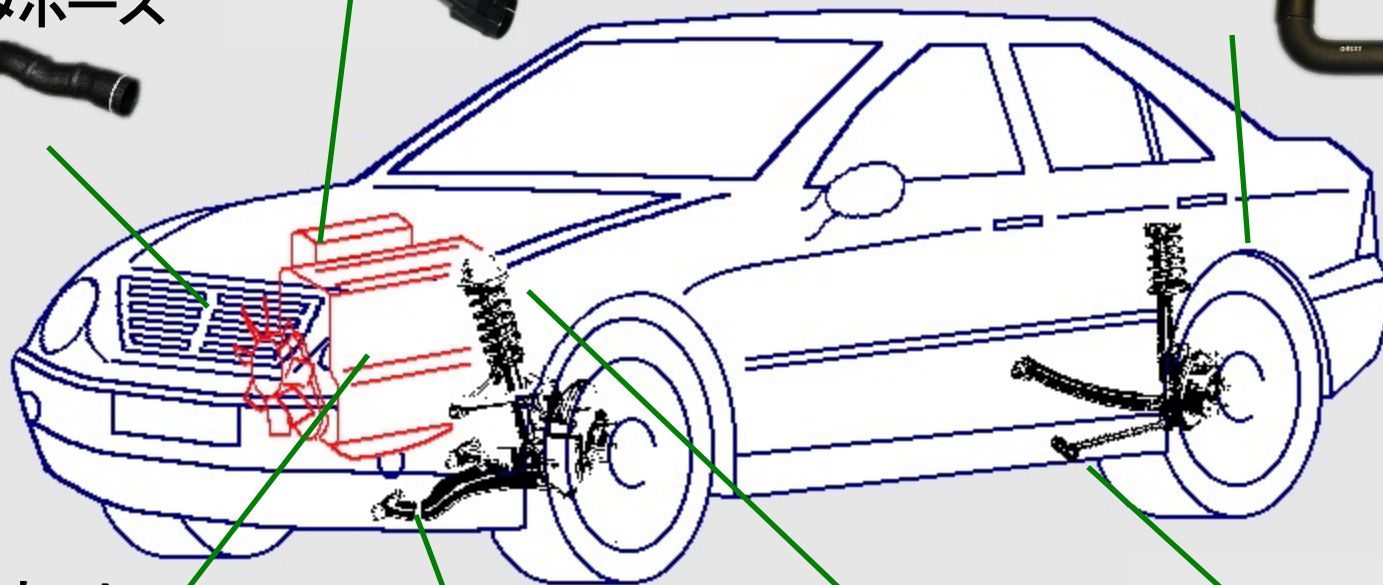
<https://marugo-online.jp/shop/default.aspx>

主要製品

フューエルホース

エアダクト

ラジエーターホース



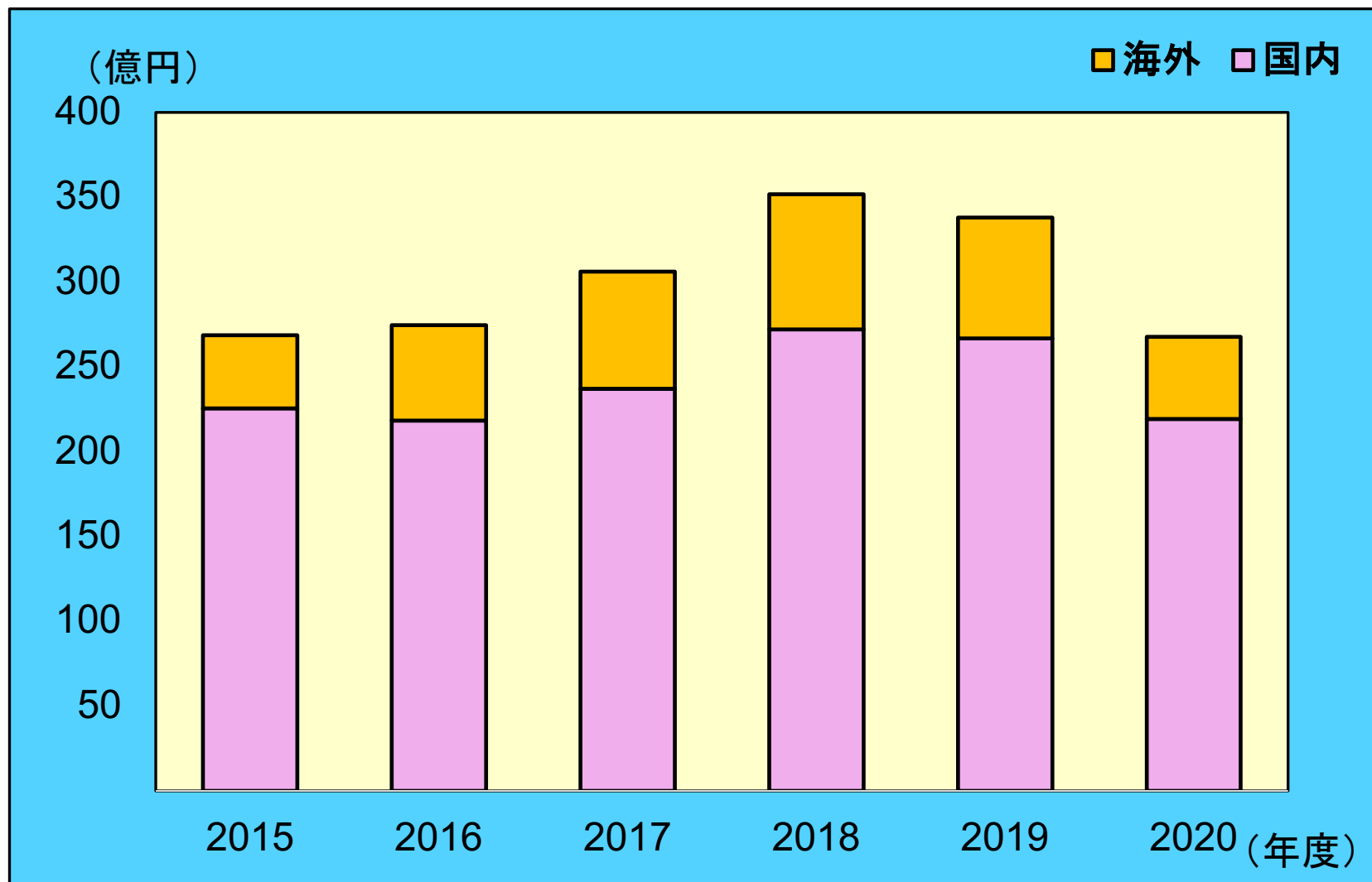
エンジンマウント

ピローボールブッシュ

ストラットマウント

ブッシュ

年 商



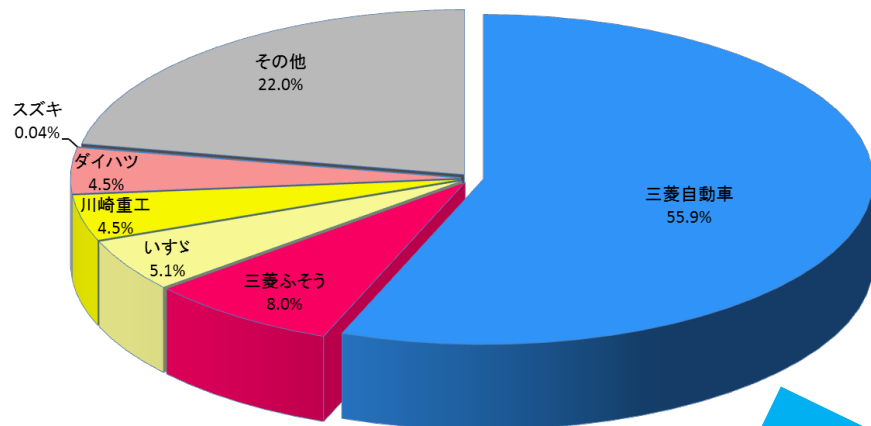
日本の自動車メーカー



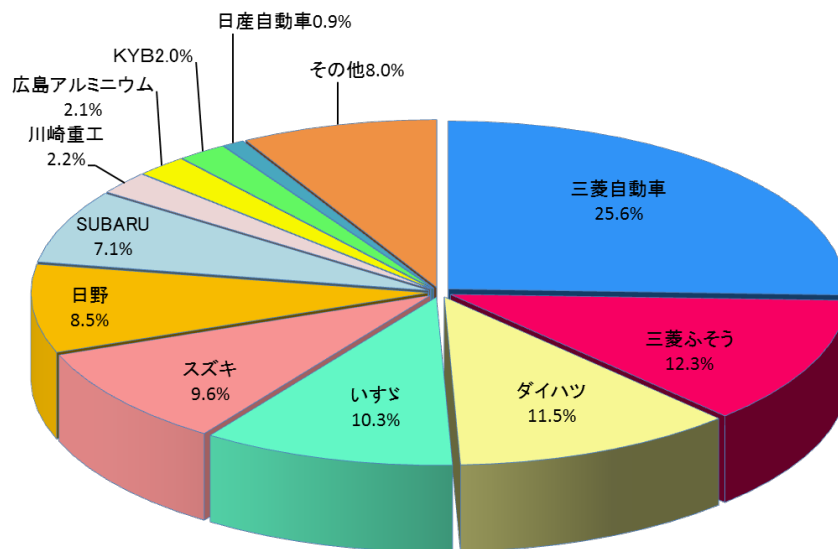
名称	乗用車	商用車	二輪	当社取引
いすゞ自動車		○		○
川崎重工業			○	○
スズキ	○		○	○
SUBARU	○			○
ダイハツ工業	○			○
トヨタ自動車	○			△
日産自動車	○			○
日野自動車		○		○
本田技研工業	○		○	○
マツダ	○			△
三菱自動車工業	○			○
三菱ふそうトラック・バス		○		○
ヤマハ発動機			○	○
UDトラックス		○		○

得意先別売上(1986→2019)

1986年



2019年





がんばる中小企業・小規模事業者300社



地域未来牽引企業選定書



地域未来牽引企業 選定証

丸五ゴム工業株式会社 殿

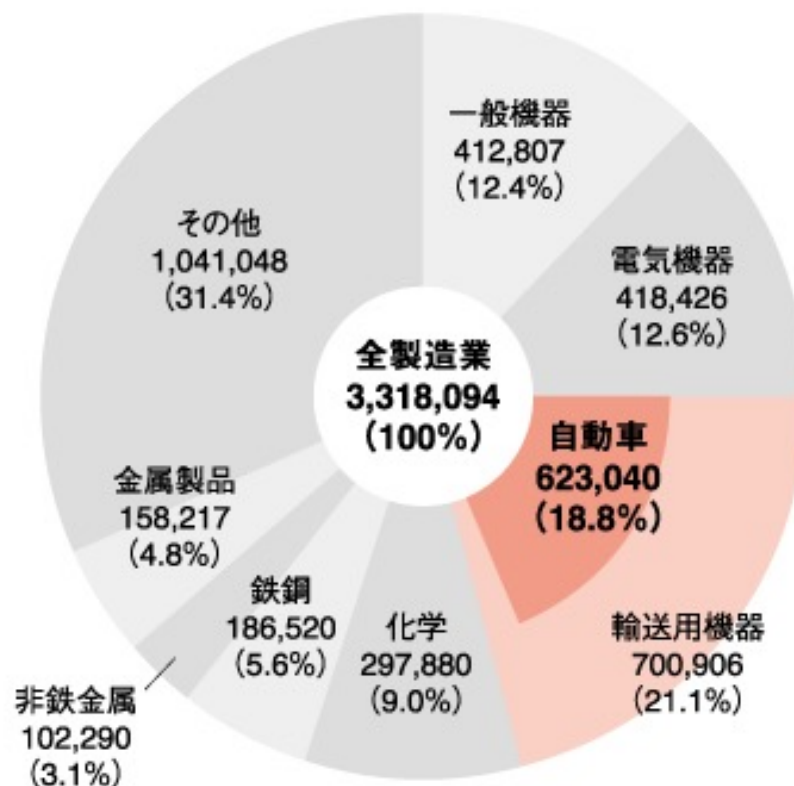
貴社は 地域経済の成長の核として期待される
「地域未来牽引企業」として選定されたことを証します
今後 地域経済を牽引する事業に さらに積極的に取り組まれることを通じて
地域経済の成長・発展に一層寄与されることを期待します

平成29年12月22日
経済産業大臣 世耕 弘成



自動車産業の占める地位

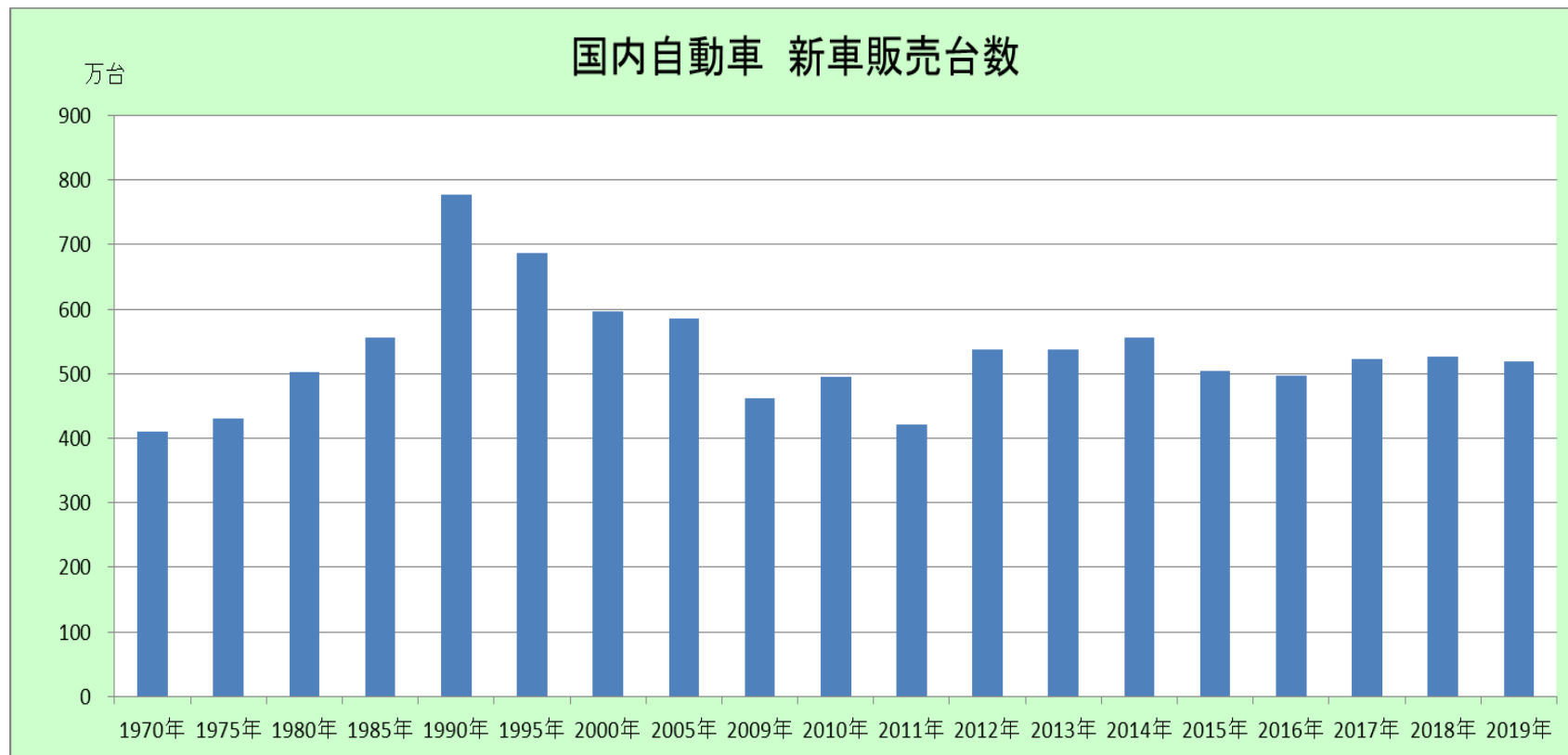
単位:億円



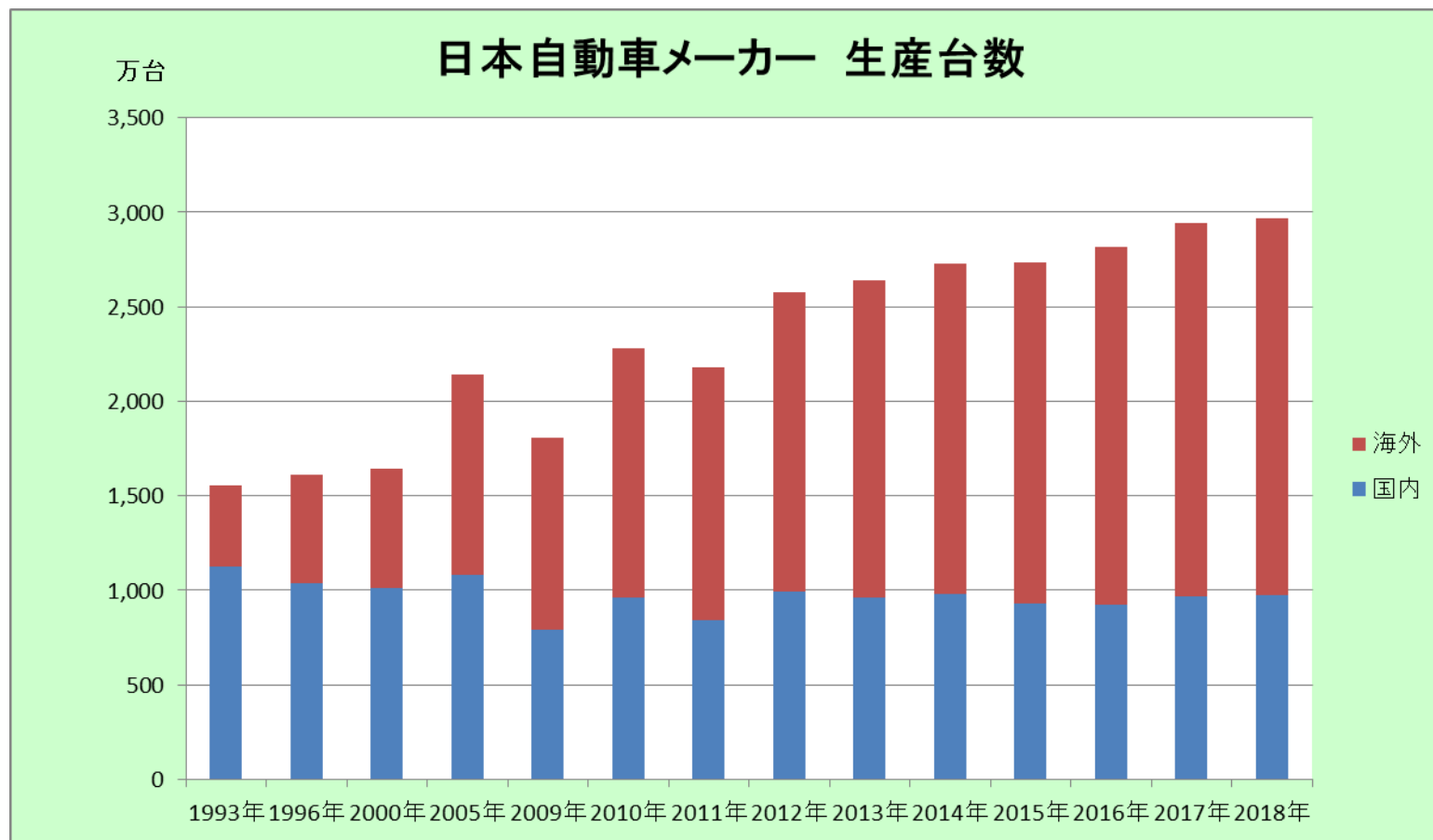
自動車製造業製造品出荷額等の内訳

・自動車製造業(二輪車を含む).....	254,578
・自動車車体・付随車製造業.....	7,199
・自動車部分品・付属品製造業.....	361,263

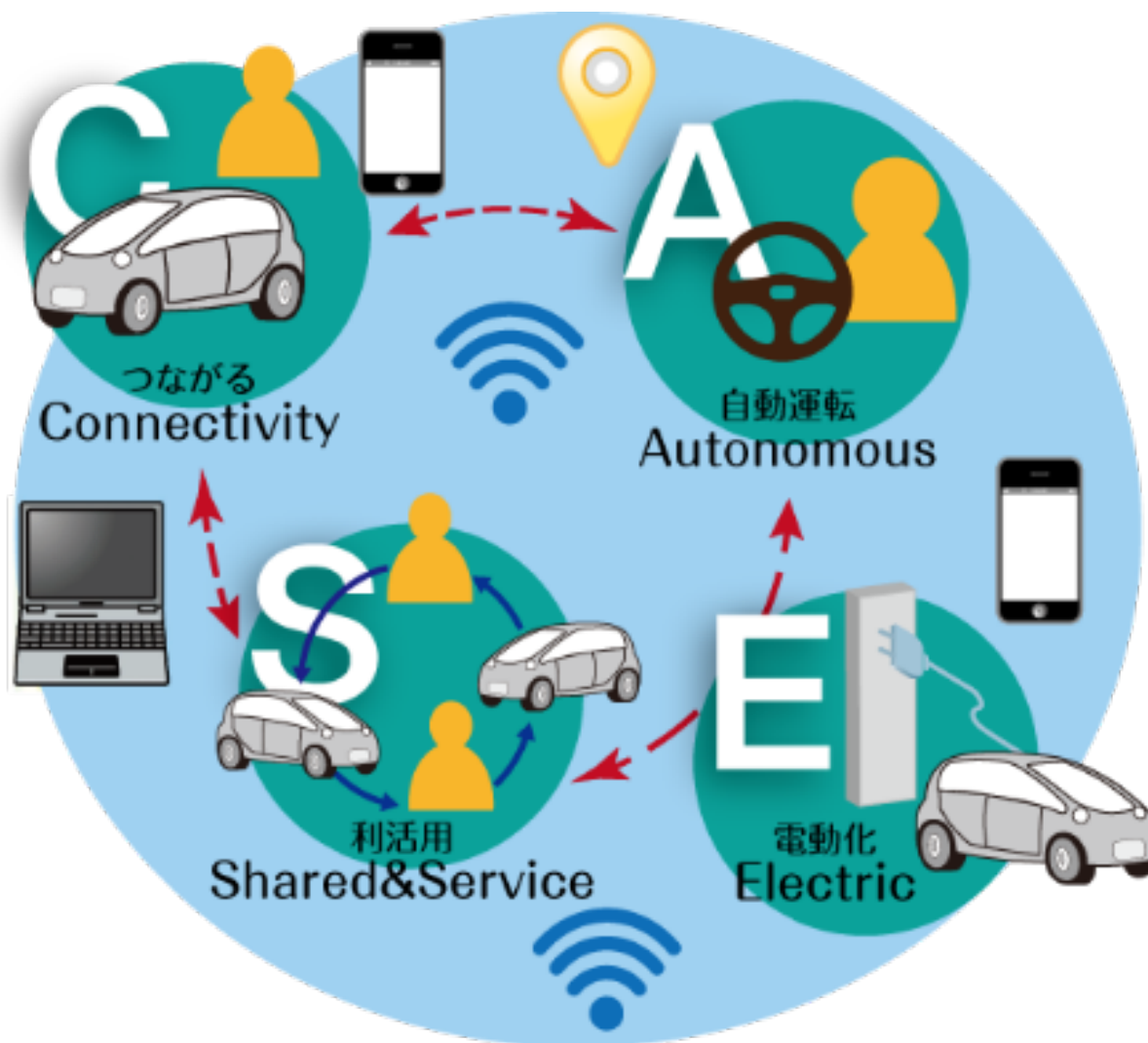
国内自動車販売台数推移



日本自動車メーカーの生産台数推移

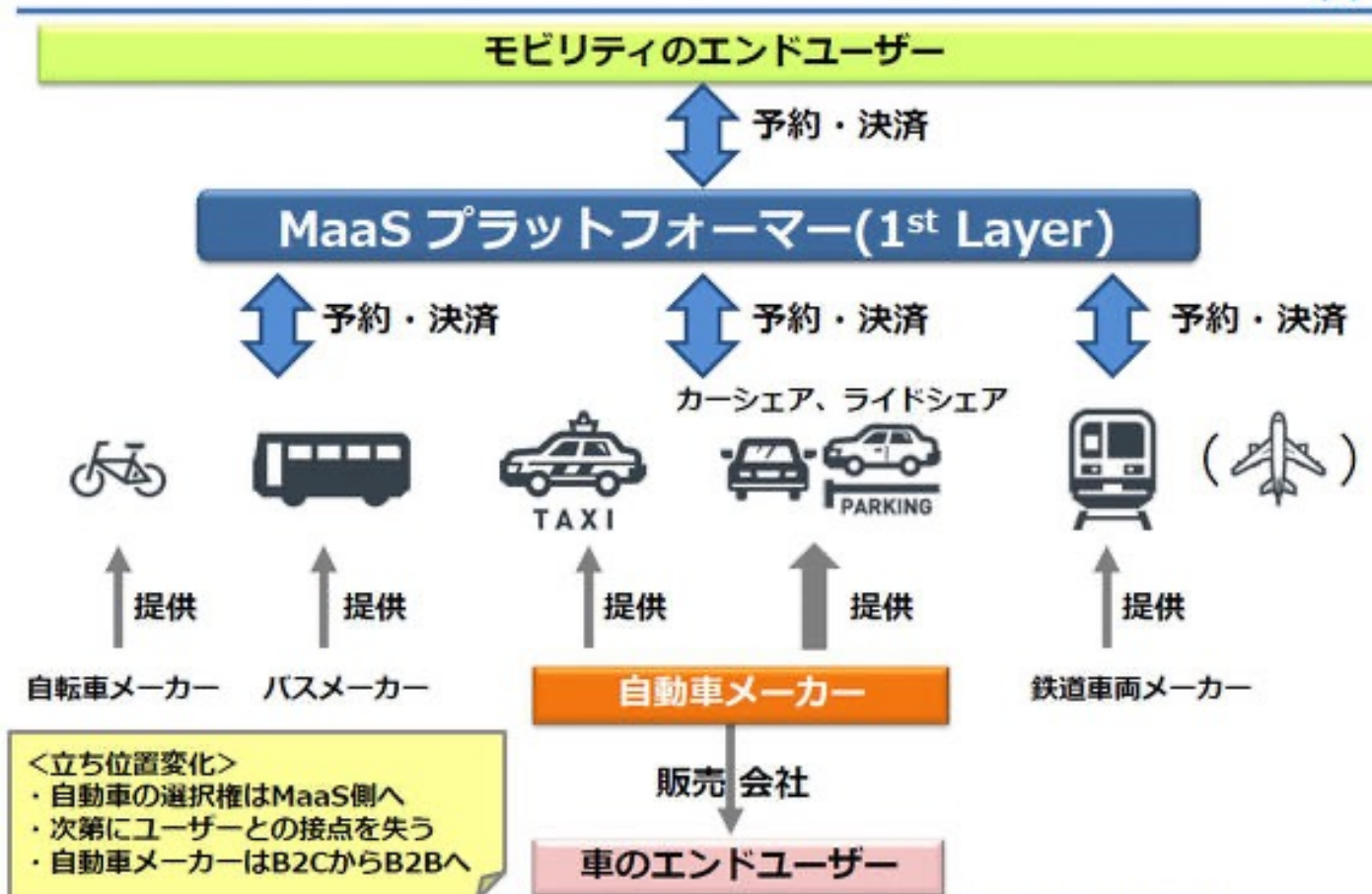


CASE



MaaS

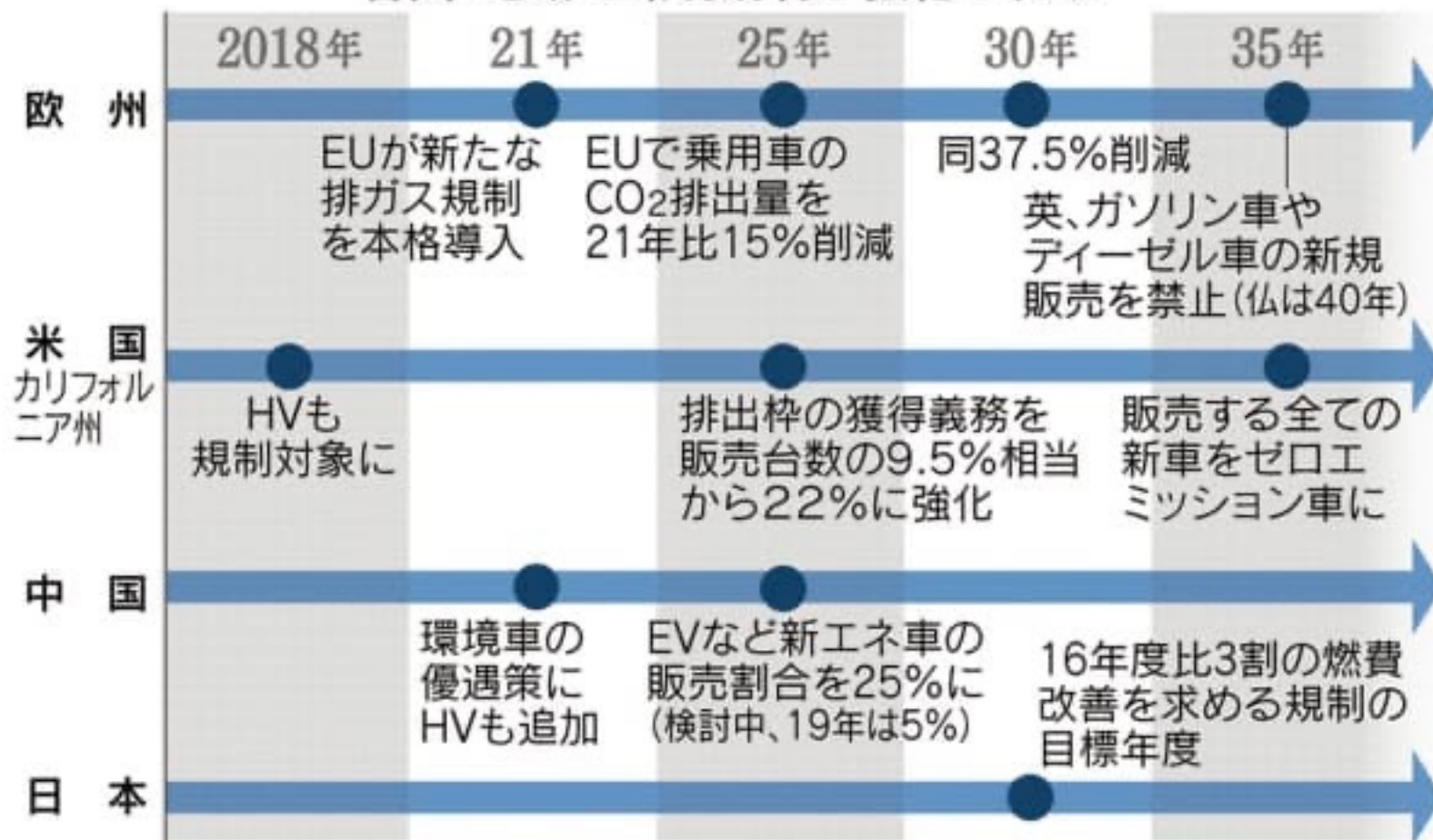
自動車メーカーは立ち位置変化に対応



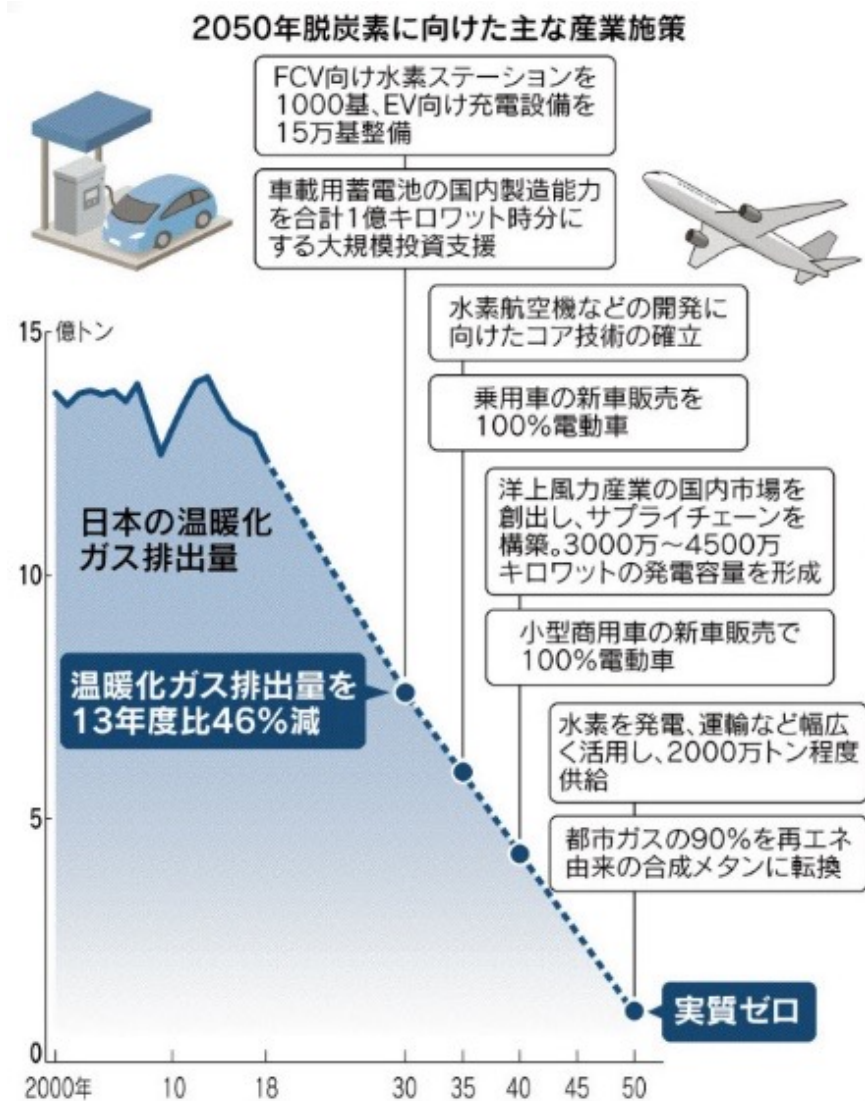
出典：日本電動化研究所

環境規制強化

各国・地域で環境規制が強化される



カーボンニュートラルに向けた政策

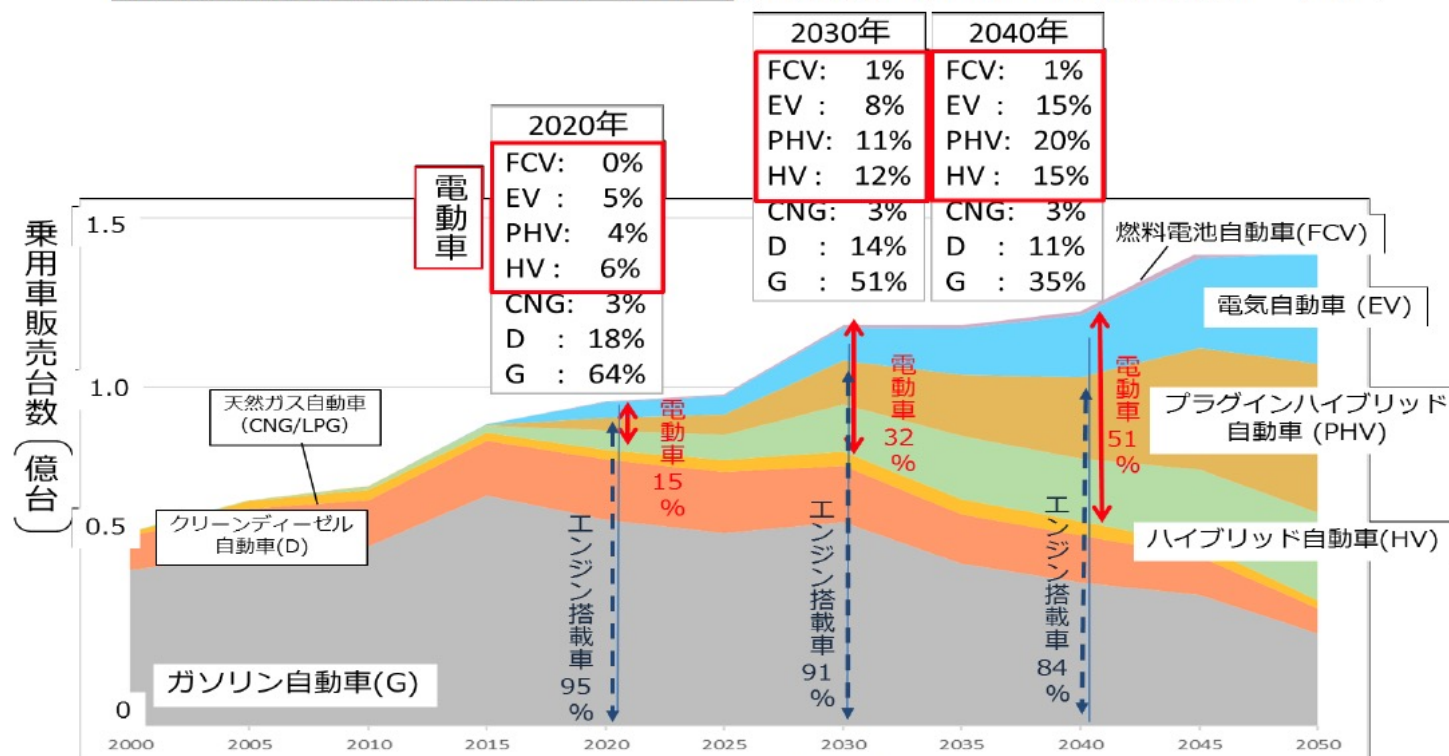


2021年6月19日日本経済新聞

世界の電動車両普及予測

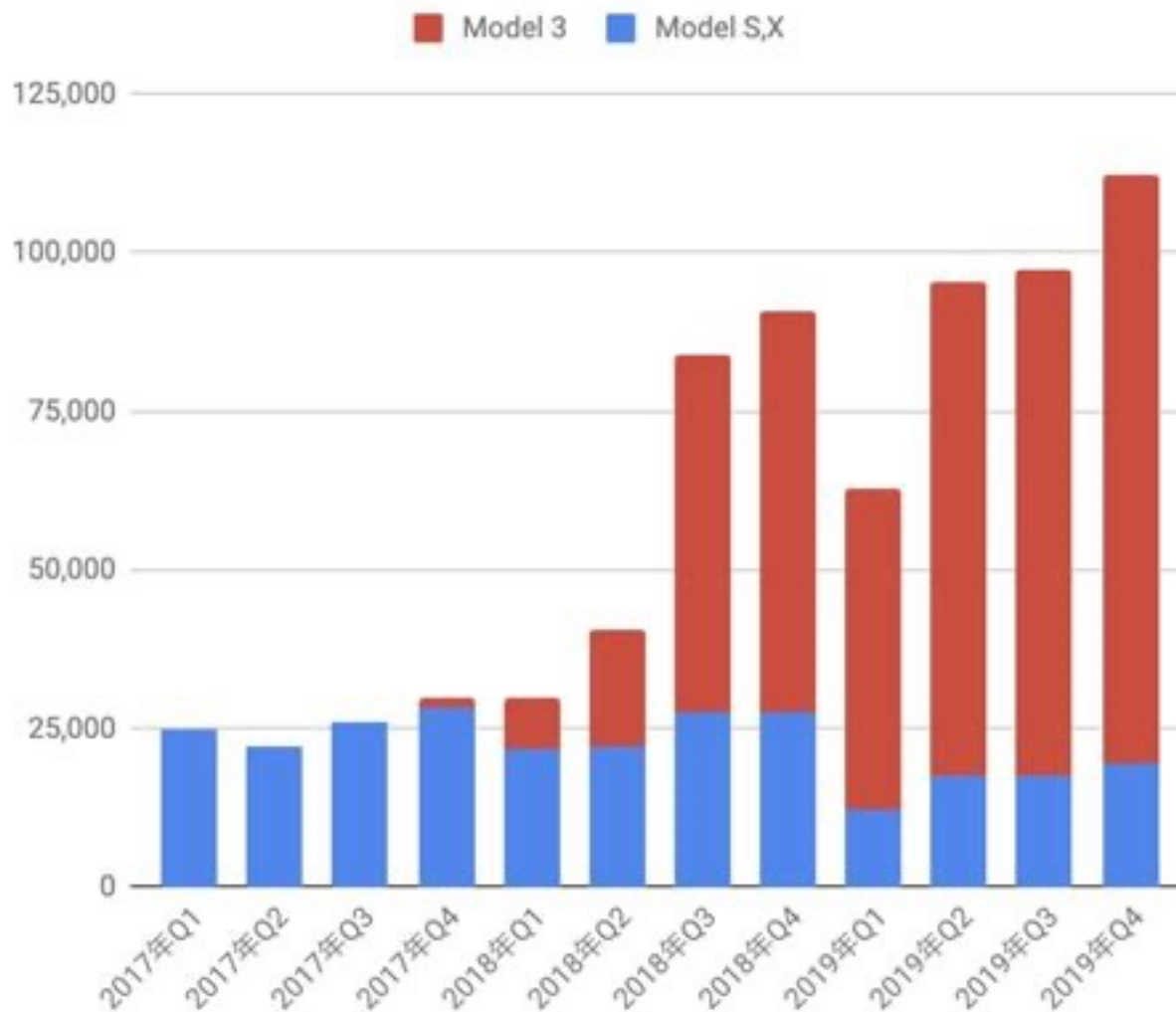
パワートレイン別長期見通し

IEAが示した技術普及シナリオ（平均気温上昇の▲2℃達成ケース）



（出所） IEA 「ETP(Energy Technology Perspectives) 2017」に基づき作成

Tesla 販売台数



自動車各社の電動化方針

メーカー	目標年	方針
トヨタ	‘30年	新車電動車 800万台、 うちBEV・FCEV 200万台
日産	‘30年代 早期	主要市場の新型車をすべて電動車化
ホンダ	‘40年	新車の100%をBEV・FCEV化
三菱自動車	‘30年	新車に占める電動車比率 50% 全車種に電動車を設定
SUBARU	‘30年	グローバル販売の50%以上をBEV・HEV化
マツダ	‘30年	電動化比率100%、うちBEV比率25%
いすゞ	‘25年まで ‘30年まで	BEV・FCEVの技術実証 量産体制確立

丸五ゴムの対応

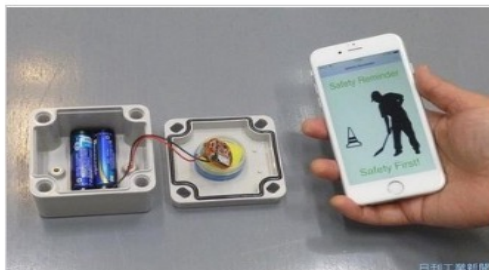
- 新規顧客開拓
- 海外ネットワーク構築
 - 直接投資 5拠点、技術・業務提携 4拠点
- 環境対応製品の開発
 - 軽量化、燃料蒸散規制対応ホース、
排ガス規制対応ホース
- 電動車向け製品開発
 - モーターマウント、バッテリー排煙ダクト
- 新規事業開発

トンネル注意喚起システム (セーフティリマインダー)

スマホで注意呼びかけ 清水建設など、建設現場向けツール

Tweet シェア  LINEで送る

(2019/7/17 05:00)



ビーコンに近づくと、スマホからその場で留意すべき安全注意事項を音声で伝達する

AD



JAIS WebExpo 2019
もうWebブースを体験しましたか?
人気講演ムービー 約30タイトルを公開!!
人気講演ムービーは 発表資料が閲覧可能!!
(2019年の講演は9月下旬から公開予定)
期間限定! 7月上旬~12月下旬まで

清水建設と丸五ゴム工業（岡山県倉敷市）は、ビーコン（小型発信機）技術を使った安全情報伝達ツール「セーフティリマインダー」を共同開発した。建設現場の危険作業箇所に設置したビーコンに作業員が近づくと、スマートフォンから安全注意事項を自動で音声アナウンスする。自動翻訳機能により日本語を含む5言語に対応した。清水建設は導入済み現場を含め、2019年度に累計10現場に導入を目指す。

ツールはビーコン、専用アプリ（応用ソフト）を組み込んだスマホ、音声データ入力ソフトを搭載したパソコンから成る。米アップルの近距離無線通信規格「iBeacon（アイビーコン）」に対応し、設置されたビーコンから10メートル以内でスマホを持った作業員に音声で安全注意事項を自動発信する。

例えば「トンネル坑内で重機搬入作業を行います。大型トラックに注意して下さい」という具合に、朝礼で指示した安全事項を現地で再確認できる。

アナウンス内容は施工管理者がパソコン上で登録するビーコンを選び文字入力する。現場の変化に応じた内容変更にも、文字入力だけで容易に行える。日本語、英語、中国語、韓国語、インドネシア語に対応し、対象言語の翻訳ボタンを押せば自動作成できる。このほかの言語にも手直しが可能。

開発に当たり、清水建設が施工する「一般県道諫早外環状線道路改良工事（仮称）4号トンネル」で実証実験を実施し、トンネル内の粉塵・高温な厳しい環境下で確実に稼働することを確認した。

安全再確認ツールとして現場に導入するほか、外国人を含む見学者への説明に活用できるとみる。10月以降、スマホ、パソコン、ビーコンなどの最小構成で外販する考え。

中小企業経営について

- 健全な考えが基本
- 苦難への対処：災害・コロナなど
- 地域との関係
- 金融機関（商工中金）の存在
- 中小企業を取り巻く環境
- 私が行った施策
- 企業の存続

健全な考え

- 利益を出さなければならないが、利益は社会に有益な事業を行った結果
- 企業は社会の公器、人も金も社会からの預かりもの
- 企業の責任：雇用・納税
- 近江商人の三方良し：売手・買手・世間
- 論語とそろばん（渋沢栄一）
- 道徳なき経済は犯罪、経済なき道徳は寝言（二宮尊徳）

健全な考え

- CSV
- SDGs
- 経営者自身も

苦難の歴史

- 2000年：三菱自動車リコール隠し
- 2004年：三菱自動車リコール隠し
ダイムラー 同社への出資を引上げ
- 2008年：リーマンショックから金融危機
- 2011年：東日本大震災
- 2016年：数社で燃費不正・完成検査不正
三菱自動車 日産と資本・業務提携
- 2018年：西日本豪雨で倉敷市真備町が被災
- 2020年：新型コロナウイルス パンデミック

東日本大震災

- 東京勤務の社員が帰宅困難に。
- 福島県小野町の子会社とその従業員が被災（福島第一原発から直線で40km）。

放射線量の確認をしながら、

設備の復旧

生産・納入継続

現地従業員の支援

岡山から支援物資の輸送

燃費不正問題

- 2016年：三菱自動車が国の型式認定を受ける際に不正をしていたことが判明、2ヵ月にわたって倉敷市内の工場が軽自動車の生産を停止。その間、軽自動車の販売も停止。
- 当社売上に占める当該工場向け比率は数%だったので、大きな影響はなかったが、地元経済には大打撃。
- 地元部品メーカーとして岡山県知事に同行して、国交省・経産省・厚労省・地元選出国会議員に陳情。

2018年倉敷市真備町水害

2018年7月6日 西日本豪雨で小田川が決壊



真備町水害被害との闘い

- 死者62人、町の1/4が浸水（最大5m）、
家屋全半壊5,700棟、
2,350人が屋根から救助
- 道路寸断・断水・物資不足
- 従業員の安否確認と被災従業員の支援
- 被災協力工場の支援
- 製品の納品対応（事務所からも交替で応援、
自動車メーカー・仕入先も応援に）

新型コロナウイルス感染症との闘い

- 2020年2月 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、社内に対策本部を設置
- 第1フェーズ: 中国国内感染への対応
 - 中国製部品・資材の確保
 - 中国現地法人の操業
- 第2フェーズ: 部品欠品による国内自動車工場の操業調整への対応
 - 自動車メーカーからの情報と対応
 - 工場は操業調整へ

新型コロナウイルス感染症との闘い

- 第3フェーズ: 国内外での感染拡大と緊急事態宣言発出に伴う自動車工場の操業調整への対応
 - 首都圏・関西圏でのテレワーク導入
 - 工場の操業調整継続
 - 出張規制・来客規制
 - インド駐在員の帰国指示
- 第4フェーズ: 国内の感染継続とその中での操業

新型コロナウイルス感染症との闘い

- 雇用を守る覚悟
- 投資・経費の抑制、経営計画修正と資金手当て
- 感染予防対策の導入
 - 出社前の検温と体調異常者の報告を指示
 - マスク・アルコール消毒液の確保
 - 食堂・会議室利用ルール
 - 出張制限・テレワーク
- GW・夏休み前に従業員にメッセージ
- 地域貢献としてフェイスシールドの共同製作
- 新規事業としてフェイスシールドを開発

コロナ禍で雇用を維持

- 雇用調整助成金を活用して、補償率を上げ雇用を維持
- 新規学卒者の採用は抑制しながらも継続

地域との関係

- 地域の発展と企業の発展は車の両輪のような関係
- 企業のもっとも重要な責任は雇用と納税
- 県知事の陳情に同行(2016年)
- 時間の一部を地域の公的活動に充当
- 丸五グループはグローバルに事業を行うが、根っこは倉敷に

岡山県知事の陳情に同行



2016年5月

金融機関の存在

- 金融機関との関係は長期の信頼関係のもとに構築
- 危機に際しての資金供給
- 投資のための資金供給
- 経営戦略に関連するコンサルティング
- 事業承継のコンサルティング
- 人材供給

中小企業を取り巻く環境

- 中小企業の良さ:スピード、小回り、ムリ
反面個人(経営者)に依存するリスク
- 管理の網はどんどん増加
コンプライアンス、労働法制、ハラスメント、
ガバナンス、ISO、BCP
意味合いは異なるが、
ESG、SDGsへの配慮も
- 菅内閣は中小企業政策の見直しや最低賃金引上げを提起、今後の動きを注視

中小企業としての当社

- 中小企業は下請法で保護の対象、中小企業は顧客にとって面倒かも。
- 当社の一部顧客は仕入先財務を格付け・評価し、評価が悪いと取引に制約も。
- いわゆる下請け的な発想から抜け出し、大きくないが特長ある企業をめざす。
- 企業の成長・発展をめざす中で、資本と経営の一致がいつまでも続けられるだろうか。

私が行った施策

- 海外事業展開
- 取引先の拡大
- 2010年：中期経営計画の策定
- 2011年：事業部制組織の導入
- 2011年：新規事業開発部新設
- 2015年：持株会社制への移行

企業/事業の存続

- 1919年以来、祖業の履物事業は現在も継続
事業の内容は変化・多様化
- 1954年：工業用品事業を分離して丸五ゴム工業を
設立
事業の内容は技術・市場とともにシフト
- 企業という容器は続くが、中身の事業は時代とともに
変化・多様化する。ミッションを明確にして、その
中で事業を変化・多様化させる。
- 中身の事業を存続・発展させるために、容器を変える
こともある(M&A)。

企業/事業の存続

- 私にとって今後の最大の課題は事業承継
- オーナー経営の良さがあるので上場する考えはないが、上場の基準をクリアできるくらいの会社でありたい。

100周年記念式典社員集合写真



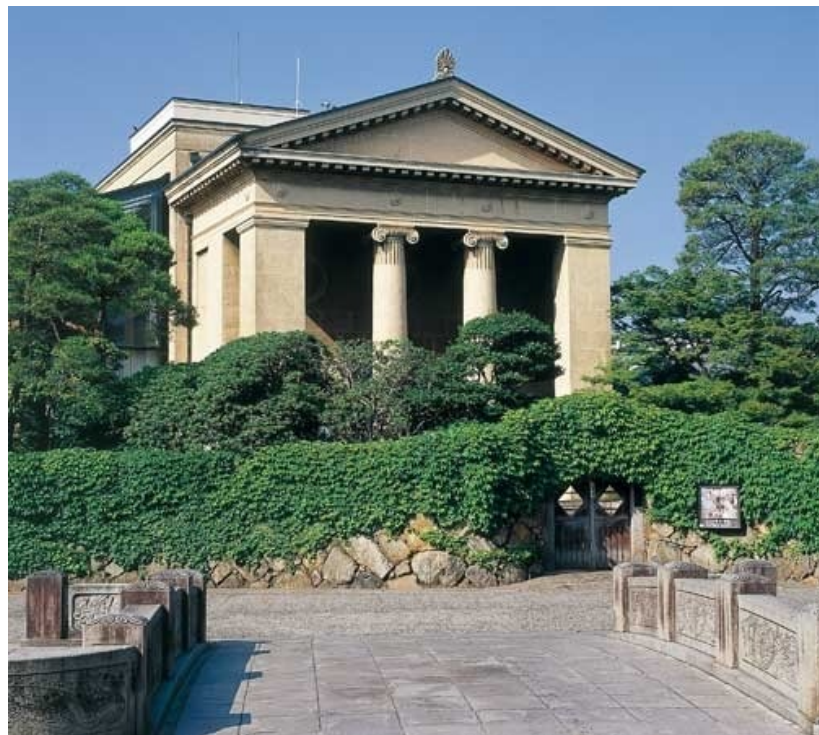
皆さんへのメッセージ

- コロナ禍での学生生活、制約が多い中でも工夫して充実させてほしい。
- グローバルな活躍を
グローバルな時代に必要なものは、異文化・異言語でものごと(中身)を伝える力
- ふるさと・心のよりどころは大切に
- 社会への関心をもって
- 選挙で意思表示を

推薦図書



大原美術館と倉敷美観地区



水島工業地帯



瀬戸内海



ジーンズストリート



果物王国



日本三大まんじゅう



THE JAPAN GIFT AWARDS
2017
日本ギフト大賞
話題賞

日本三大まんじゅう



塩瀬総本家

東京



柏屋

福島



大子饅頭伊部屋
岡山